

令和3年度
第2回 球磨川水系学識者懇談会
説明資料

第1回学識者懇談会等での主な意見

令和3年12月13日

国土交通省 九州地方整備局
八代河川国道事務所
熊本県土木部河川港湾局
河川課

- 第1回学識者懇談会でいただいたご意見について、以下のとおり。
- いただいた意見を参考に、河川整備計画(原案)の作成を行っていく。

第1回 学識者懇談会で委員からいただいたご意見	
1	利水ダムをうまく活用するという視点を取り入れてほしい。
2	支川がどのように氾濫したのか特徴を整理してほしい。
3	砂防と連携した流木捕捉施設の整備は、試行的に設置して効果を測っていくことも考えられる。
4	流域内人口が約12万人の球磨川水系において、将来の人口減少や費用対効果も踏まえ、従来とは異なる公共事業の取り組み方を工夫していくべき。
5	河川区域だけでなく集水域、氾濫域まで連携していくことは、新しい取り組みであり評価できる。この球磨川水系学識者懇談会も含め、様々な委員会が設置されていると思うが、連携していくべき。
6	洪水時の生態系(魚類等)への影響を考えると、河川改修の際に水際の流速を抑える視点(例えば水制工等)が必要。
7	幸野溝や百太郎溝などでは、事前放流や土砂捕捉を実施している事例がある。
8	氾濫想定型の治水を検討する場合は、氾濫水には、土砂も含まれていることを考慮して、水と土砂をコントロールすることが重要である。
9	流域治水は国と県の連携が重要。単に治水計画だけでなく、環境配慮した掘削などでも国と県で連携して取り組んでほしい。
10	中小河川の土砂掘削はもっと環境に配慮する必要がある。
11	河川整備が進むにつれ、氾濫の形態が変化していくことから、ソフト対策の見直しも必要となってくる。
12	住民が参画しやすいような目標を設定するなど、住民との協働を進める内容を整備計画に盛り込んでほしい。
13	球磨川くだりにおけるHASSENBAの再開などの民間・住民の復興に向けた取り組みについても情報を確認しておくことが重要。
14	河川整備において、漁業関係者との協力・連携が必要。

- 球磨川水系学識者懇談会委員を対象に、球磨川流域の現地視察を令和3年10月13日～14日の2日間かけて開催。
- 現地視察とあわせて、「河川整備基本方針検討小委員会における球磨川水系河川整備基本方針の変更に関する審議状況」の報告を実施。その際に委員からいただいたご意見について、以下のとおり。
- いただいた意見を参考に、河川整備計画(原案)の作成を行っていく。

球磨川水系河川整備基本方針の変更に関する審議状況報告において委員からいただいたご意見

1	背後に八代市街地が広がる萩原堤防についてしっかり守っていく必要がある。
2	異常洪水に対しては、従来型とは違った観測体制の強化(無人化等)を考えていく必要がある。
3	大量な長雨が続きと深層崩壊が起こり、天然ダムが出来る可能性がある。今後、水位計を増やして配置していくのであれば、天然ダムの発生検知などの視点も入れるとよい。
4	土砂対策が早急に必要一方で、海への土砂供給が重要という面もある。
5	地域の安心・安全が第一ではあるが、河川利用者や観光面からの意見も聴きながら取り組んでほしい。
6	災害後の復旧・復興活動を視野に入れて、被害を迅速に把握することが重要。
7	氾濫域での対策で、氾濫した時に被害を軽減するためにはどのような氾濫形態が望ましいかなど、氾濫制御という観点は重要と考える。
8	氾濫域には生活の場があり、氾濫を前提とした対策には、地域との合意形成が難しい面もある。
9	流域治水にはそれなりの痛みも伴うため、覚悟を持って取り組むことが大事になる。
10	流域治水は、河川管理者だけでなく、みんなで取り組むことで流域の意識が高まることがよい。
11	田んぼダムで上下流が連携し、精神的なつながりをつくるのが今後の流域治水で大事になる。
12	森林整備については、資源や土壌を蓄える等の長期的な観点から重要になる。
13	流域治水では関係する当事者が増えているが、特に自治体が重要になる。
14	森林が持つ防災機能は大きいですが、それが間伐等の施業によって大幅に変わるというものではない。

第1回学識者懇談会でいただいたご意見の対応に関する補足説明
 【県管理河川における令和2年7月豪雨の氾濫の特徴】 1/3

- 県調査結果に基づき、県管理河川の本川バックウォーターと自己流の氾濫(越水・溢水)による家屋浸水被害が発生した河川を整理。(川内川、中園川、小川は土砂埋塞による氾濫)
- 令和2年7月豪雨から令和3年5月末までの堆積土砂掘削量を整理。(豪雨以前の断面を確保する堆積土砂の掘削)
- 森林部局の倒木調査により、倒木が多く確認されている河川を整理。(倒木500本以上が確認された流域)
- 河川施設の護岸欠壊が発生した河川を整理。

圏域	市町村	1次支川	2次支川	氾濫(越水・溢水)		堆積土砂掘削	掘削量(m3)	倒木	護岸欠壊
				球磨川本川 バックウォーター※1	支川自己流				
中流	八代市	古麓川	-						
		深水川	走水川	●					●
		中谷川	-	●					●
		油谷川	-	●	●				●
		百済木川	鶴喰川	●	●	●	約1,900		●
		市之俣川※2	-	●		●	約12,000		●
	芦北町	吉尾川	大尼田川	●	●	●	約20,000		●
	球磨村	川内川※2	-	●	●	●	約93,500	●	●
	芦北町	天月川	-	●	●	●	約4,500		●
		漆川内川	-	●		●	約1,500		●
	球磨村、芦北町	告川※2	-	●		●	約500	●	●
	球磨村	芋川※2	庄本川※1	●		●	約2,000		●
		中園川※2	-	●	●	●	約22,000		●
		那良川※2	-	●					●
鶴川※2		-	●					●	
	小川※2	-	●	●	●	約70,000	●	●	
人吉	人吉市、球磨村	馬氷川	-	●		●	約5,100		●
	人吉市、山江村	万江川	-	●	●	●	約231,100	●	●
	人吉市	出水川	-	●	●	●	約200		
	人吉市、山江村	福川	御溝川	●	●				
	人吉市	鹿目川	-	●		●	約3,800		●
	人吉市	永野川	-	●		●	約6,000		●
	人吉市、山江村	山田川	西川内川、鬼木川、泉田川	●		●	約17,600		●
	人吉市	胸川	-	●		●	約12,200		●
人吉市	鳩胸川	大川間川	●		●	約12,300		●	

※1 球磨川本川の水位上昇の影響により、支川から氾濫が生じた現象

※2 権限代行河川

※3 2次支川を含む

第1回学識者懇談会で頂いた意見の対応に関する補足説明
 【県管理河川における令和2年7月豪雨の氾濫の特徴】

2/3

圏域	市町村	1次支川	2次支川	氾濫(越水・溢水)		堆積土砂掘削	掘削量 (m3)	倒木	護岸欠壊	
				球磨川本川 バックウォーター※1	支川自己流					
川辺川	相良村 五木村 八代市	川辺川	葉木川、縦木川、にがこべ川、 山の津川、さかいの谷川、小原 川、小鶴川、梶原川、日当川、 一の股川、入鴨川、五木小川、 登谷川、飯干川		●	●	約237,700	●	●	
上流	人吉市、錦町	小さで川	高柱川	●		●	約107,700	●	●	
	錦町	大谷川	-			●	約4,500		●	
	錦町	野間川	-			●	約7,500		●	
	錦町	水無川	-			●	約33,000		●	
	あさぎり町	銅山川	-			●	約500			
	あさぎり町	田頭川	-	●		●	約20		●	
	あさぎり町	免田川	宮川内川、大木川			●	約102,000		●	
	あさぎり町	井口川	-			●	約1,200		●	
	あさぎり町	阿蘇川	-			●	約3,000		●	
	あさぎり町、多良木町	柳橋川	奥野川、伊良目川		●	●	約6,400		●	
	多良木町	小椎川	宮ヶ野川			●	約3,100	●	●	
	多良木町	牛繰川	-			●	約4,300		●	
	多良木町、湯前町	仁原川	津留川			●	約15,500		●	
	湯前町	都川	牧良川			●	約1,800	●	●	
	湯前町	小川内川	-			●	約9,200		●	
	湯前町、水上村	球磨川 (県管理区間)	-							●
	水上村	横才川	-							
水上村	白水川	白水滝川、魚帰川							●	
水上村	湯山川	太平川、北目川			●	約1,800	●	●		
			合計	25河川	13河川	42河川※3	約106万	10河川	54河川※3	

※1 球磨川本川の水位上昇の影響により、支川から氾濫が生じた現象

※2 権限代行河川

※3 2次支川を含む

- 令和2年7月豪雨により、山腹崩壊や倒木が発生。
- 森林・砂防部局と連携するとともに、河川区域の土砂や流木を効果的に捕捉するための対策を検討する必要がある。



川内川流域：山腹崩壊状況



万江川流域：山腹崩壊状況

宇那川



川辺川流域：山腹崩壊状況



小川流域：山腹崩壊状況

球磨川流域図



川辺川流域：流木状況



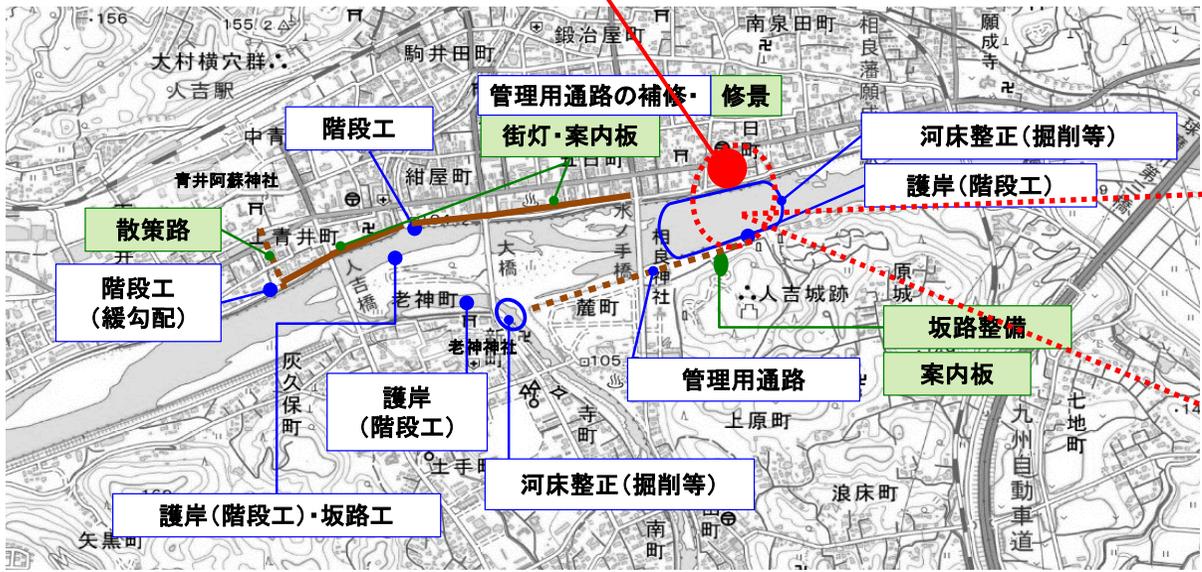
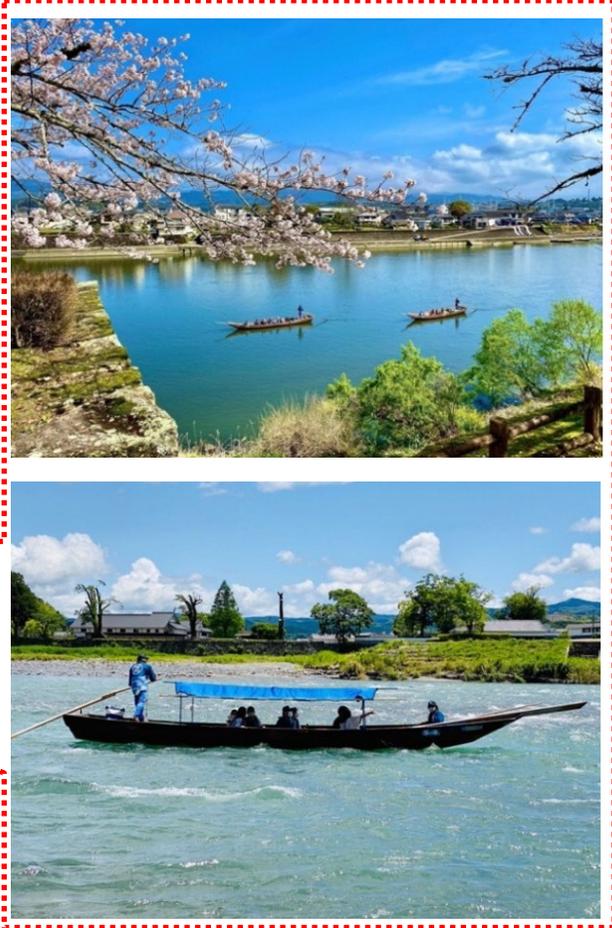
都川流域 流木状況

○球磨川くだり人吉発船場が、これまでの乗船券売り場・待合所の機能に加え、「アクティビティ・カフェ・ショップ」を兼ね備えた『HASSENBA』として再生。(令和3年7月開業)
○かわまちづくりとも連携し、観光振興の促進、地域の魅力向上、地域活性化を図る。

【HASSENBA】



【球磨川くだりの様子】



(球磨川・人吉地区かわまちづくり計画)